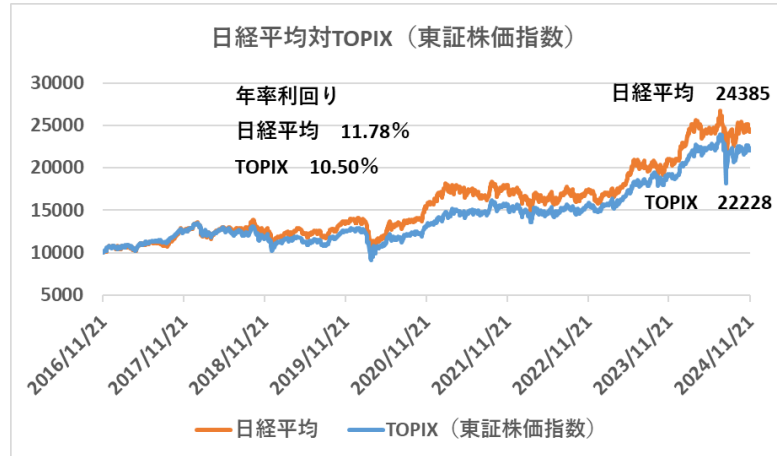


ATTENTION

われわれが見落としがち、日本の2大株式指数の差！



このグラフは日本の2大株価指数の6年間の推移です。日経平均とTOPIX(東証株価指数)の年率利回りが1.3%も違います。この間、両方の指数連動のインデックスファンドに投資していると、100万円が日経平均に投資していれば243万円、TOPIXに投資していると222万円。その差は20万円以上になります。我々の年金資金を運用しているGPIFの運用資産額は約246兆円で世界最大、そのうちの25%は日本株で運用され、そのほぼ全部がTOPIXに連動するように運用されているのです。日経平均に連動ではありません。GPIFだけでなく、企業年金などほぼすべての年金資金の運用は、TOPIX通りに運用する連動型なのです。TOPIX指数は、東証上場の全部の企業を含むため、いい企業も悪い企業も含まれる時価総額加重の指数なのに対して、日経平均は、日経の指数算出部門が選ぶ、組み入れに値する企業225社を選定して、株価単純平均で算出します。TOPIXは、東証に上場している限り、指数に算入されるのに対して、日経平均は、時代の趨勢や産業構造の変化に対応して、定期的に入れ替えます。この違いは、大きくパフォーマンスの差となって現れるのです。東証もようやく重い腰を上げ、構成企業を絞り込むようですが、これまで長い間、日経平均とTOPIXの乖離を放置したつければ、かなり大きいです。

COLUMN

「素晴らしい人生を送るために」

興味深い書がありましたので、紹介しましょう。題して「素晴らしい人生を送るために」。1回きりの人生、誰でもそうありたいと思うでしょう。この書には、私も「そうだなあー」と思うことがたくさんありました。

・**細部に注意せよ**-イラクの砂漠をパトロールした後、非常時に備え、いつもジープや武器を完璧に掃除したが、このことが、細部をきちんと行うことの大切さを教えてくれた。細部に目を向けることは、よい土台をつくることにつながる。なんでもきちんとやることは、習慣化し、信用や評判につながる。

・**良い習慣を身につける**-日々決まり事、たとえば運動する、読書する、いつも近親者に感謝することなどを習慣化すれば、より活力を得られるようになり、より大きい目標に焦点を当てることができる。

・**「最悪より良い」で妥協するな。ベストを目指せ**。著者は学生の頃、ほどほどでいいと思っていたが、父からそれでは成長しないと諭され、一念発起し、自分を成長させてくれ、意味ある目標を設定してくれる人で困んだ。

・**悪くってしまったら、すぐに解決する**-放置しておく、とどんどん悪化する。すぐに対応して、ダラダラと時間を無駄にするな。

・**環境が大きな影響を与える**-部屋をきれいにしておく、よりクリアに考えられ、集中でき、生産性が高まる。また考え方や行動、さまざまな面でよい影響がある。

・**やりたいことを見つける**-好きなことをやっていたら、自然に力が湧く。仕事ではなくなり、もっと探求するようになる。どういう人間になりたいか決まればすぐにそういう人間のように行動するようになる。

出典：How To Live An Extraordinary Life by A. Pompliano

MARKET

(11月末)

(10月末比)

日経平均

38,208.03円 → -873.22円
(-2.23%)

NYダウ

44,910.65ドル → +2,580.25ドル
(+6.10%)

米ドル

149.80円 → -2.25円
(-1.48%)

私の書棚より

天の道は争わずして善く勝ち、言わずして善く応じ、召さずして自ら来たり、
緘然(せんぜん)として善く謀る。

天網恢恢、疎にして漏らさず。

-老子 第七十三章

中国がすり寄ってきた…これにホイホイ乗るな！

石破首相が習近平国家主席とペルーで会談。国際会議中の会談ですが、この会談は、これまでの冷たい態度を変えて、中国がすり寄ってきた感があります。この動きに、日本がホイホイ乗るのは、絶対にやめておいた方がいいでしょう。中国は自国の風向きが悪くなれば、これまでの態度をコロッと変えて、接近してくるのです。

東シナ海の共同開発はどうなった？

胡錦濤政権の時、東シナ海の日中共同開発という話が持ち上がりました。2008年6月には「資源開発に関する日中間の協力」について合意したのです。ところが、その後共同開発どころか、中国が日中の中間線の西側で、どんどん開発を進め、すでに18基の構造物(要は油田開発基地)をつくってしまったのです。こういう国はまったく信用できません。

「戦略的互惠関係」が聞いてあきれろ

中国は、この言葉をよく使いますが、要は、相手をうまく引き入れるための常套文句。「ウィン・ウィン」の関係をつくると言いますが、甘い言葉で誘い、如何に引き入れ、自国の利益を最大化することしか考えていないのです。よくも平気でこのような言葉を使えるものだとあきれてしまいます。過去にどのような事案だったかは忘れましたが、WTO(世界貿易機関)が、中国はWTO法令違反とした際に「そのようなものは捨ててしまう紙切れだ」といっておきながら、自国が貿易で不利になると、WTOに提訴する国です。

習近平独裁は、中国の活力を長期的に萎えさせる

現在の香港の惨状は、目を覆うものがあります。いまとなつては、完全に中国共産党政権の支配下。民主的活動はすっかり抑え込まれ、国外への移住者もどんどん増えています。外国法人の拠点も、シンガポールなど他国に次々に移転しています。本土では、不動産バブルが崩壊、国民の不満が積み上がり、凶悪事件が頻発する状況です。政府高官の汚職、不正の摘発も、独裁を維持するためもあり、続いています。

勢力拡大に手段を択ばず

南シナ海のいわゆる九段線。中国が一方的に、南シナ海を舌のように囲み、この地域は中国の領海だと主張しているのです。この海域で、強引に埋め立て、実効支配を進めています。最初は「ホテル建設のため」といっていたのが、滑走路を造り、軍事施設が姿を現したのです。フィリピン船への中国海洋局船の体当たり。人命の危険を恐れて、フィリピン船が引くのは当然です。中国はそれを狙っているのです。

日本政府は中国に対して、概して弱腰。強い態度に出ないので、ますますつけあがってくるという構図です。中国が日本産魚介類の輸入を再開する姿勢を見せていますが、それも「入れてやる」というトーン。日本はむしろ、買ってくれないのだったら、結構、他国の市場を開拓するべきで、そうすることで、対中国との関係が、長期的にあるべき関係になると見たほうがいいでしょう。

まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売りやすい商品をお客様に売るのではなく、お客様にもっとも適した金融商品やお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観をもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス
代表 尾藤 峰男
公認投資助言者(RIA)

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386
携帯：070-5567-3311 電子メール：info@bfsc.jp